

ちの市議会だより

CHINO CITY COUNCIL REPORT

2015年8月20日 第14号

〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX0266-73-7936

発行／茅野市議会 編集／議会広報部会 印刷／株式会社 オノエ印刷

茅野市議会

検索

<http://www.city.chino.lg.jp/>

目次

委員会紹介	2
常任委員会報告	5
議決結果・賛否一覧	8
請願・陳情議決結果	9
一般質問通告一覧	10
編集室より	12

選挙後の初議会が5月13日に開催され、正副議長が選出されました。正副議長よりご挨拶申し上げます。

議長あいさつ



議長 小松 一平

『市民のための、市民に寄り添う議会を目指して』

伝統ある茅野市議会の議長の重責に改めて身が引き締まる思いであります。

議会の究極の目的は、市民の幸せ向上のためにあることを深く認識し、市民のための議会、市民に寄り添う議会を目指して、全議員の力を結集し、たゆまない議会改革と茅野市発展に向けて力の限りを尽くしたいと考えております。

具体的には、①前期議会で種を播き、苗を育てた「議会だより」を発

行、議会報告意見交換会」事業を充実発展させ、市民の声、総意をつかみ市民に寄り添う議会を目指すこと。②議会の権能である議決権行使に当たり、提出議案に対するより深い審議と、活発な議論を尽くせるような環境としくみづく

副議長あいさつ



副議長 小池 賢保

『議員力、議会力のある議会に』

議会に

常日頃の議会へのご理解、ご支援ありがとうございます。

社会の多様化が進む中で、地方分権や地方創生への対策が急務であります。地方や地域の現実は極めて厳しい状況にあります。都会への一極集中に見られる地方の

りを研究、具現化し、議会の活性化を通じて市民の負託に応えたいと考えます。

今後とも、市民の皆様からの一層のご意見、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

人口減少や少子高齢化、更には産業の空洞化など地方経済の疲弊を加速させる課題が山積しています。茅野市では持続成長が可能な地域のあり方の対策がそれぞれの施策において計画、実行されております。国や県と連携をする中で単なる横並びから脱却し、社会の仕組みを地方から変えていく時代の先取りをしています。

地域経営の二元代表制の一翼を担う議会として議員力、議会力を高めていく中で、行政課題はもとより市民の皆様の要望について、議会一丸となって取り組んでいくことのできる茅野市議会運営を議長との二人三脚で進めてまいります。よろしくお願いいたします。

委

員

会

紹介

4月の改選後、新たに常任委員会の構成が決まりましたので、委員会と委員の紹介をいたします。

(平成27年5月13日から)

総務環境委員会

委員長 望月 克治



前列左から…望月克治（委員長）
小尾一郎（副委員長）
後列左から…小松一平 矢島正恒
宮坂武男 両角昌英

「非核平和都市として

安心して住める市へ」

総務環境委員長 望月 克治

総務環境委員会は、まちづくりや環境、会計に関すること、また選挙管理委員会や消防に関する事項などを担当しています。

今年は終戦70周年を迎える年です。茅野市は「非核平和都市宣言」後31周年を迎え、昨年は市民の力

で「非核平和都市宣言碑」も建立

されました。他にも茅野市は「茅

野市交通安全都市宣言」「暴走族

追放宣言」「青少年健全育成都市

宣言」「生涯学習都市宣言」「暴

力のない都市宣言」をしています。

これらの宣言にふさわしい都市

であり続けるよう、委員会として、

市民目線で市の業務をチェックし

ていきます。

経済建設委員会

委員長 樋口 敏之



前列右から…樋口敏之（委員長）
伊藤 勝（副委員長）
後列左から…篠原啓郎 山岸正衛
丸茂岳人 両角秀喜

「茅野市経済の

現状を知る事から」

経済建設委員長 樋口 敏之

経済建設委員会は、農林課、商工課、観光課等が属する産業経済部と建設課、建設関連・バイパス対策室、都市計画課、水道課が属する都市建設部、また農業委員会に関する事項を受け持っています。

今年度の経済建設委員会は、茅

野市経済の根幹である産業振興ビ

ジョンの進行状況をしっかり調査

する事と、茅野市の産業をけん引

している各種団体や事業者と意見

交換を積極的に行い、委員全員が

茅野市経済の現状と課題について

共通認識を持つ事で委員会として

何が出来るのかを、しっかりと考

えていきたいと思っています。

福祉教育委員会

委員長 伊藤 玲子



前列右から…伊藤玲子（委員長）
松山孝志（副委員長）
後列左から…長田近夫 小池賢保
伊藤正陽 北沢千登勢

「笑顔あふれる福祉のまちに」

福祉教育委員長 伊藤 玲子

福祉教育委員会は、健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項や、福祉事務所の所管に属する事項を担当しています。

4月の地方選挙投票日の出口調査において、「茅野市政に望む重点課題は」の問いに対して、一番目に多かった回答が福祉・医療、2番目に多かった回答が教育・子育てで、他の回答を大きく離して

いたと地元新聞に掲載されていました。

これは、茅野市の市政にもっと福祉・教育等に対する施策を反映してほしいという市民の願いと受け止め、福祉教育委員会としても「福祉のまち」と自他ともに認めあえるまちづくりの推進・協働を目指したいと思っています。



予算決算委員会

委員長 山岸 正衛



左から…山岸正衛（委員長）
丸茂岳人（副委員長）

「市民に代わって 税の使途をチェック」

予算決算委員長 山岸 正衛

予算決算委員会は18人の議員全員で構成され、一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、国民健康保険医療、墓地事業）及び公営企業会計（水道事業、下水道事業）の当初予算、補正予算の審査と、決算の認定に関する事項を受け持っています。当初予算については、3月定例会で市長の予算編成方針をもとに、市から説明を受け2日間かけて審査します。決算については、9月定例会で、

市から説明を受け2日間かけて、議会で決定した予算が適正に執行されたかどうか、また今後の行政運営の改善に役立てることを目指して審査しています。補正予算については地方自治法第218条で「予算の調製後に生じた事由に基づいて、既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたときは、補正予算を調製し、これを議会に提出することができる」と規定されています。茅野市では4回の定例会で補正予算の審査をしています。益々厳しくなる財政状況の中で、税金の使途をなお一層厳しく審査していきます。

議会運営委員会

委員長 宮坂 武男

「議会運営を円滑に」

議会運営委員長 宮坂 武男

議会運営委員会は、議会運営の調整を行うことを目的として設置されています。議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を所管します。

また、議会の日程、議案、請願・陳情の取扱いの協議を行います。

議会運営を円滑に行うため、また、議長の諮問機関として役割を果たせるよう、議員の理解と協力を得



ながら、慎重に運営してまいります。



前列左から…宮坂武男（委員長）
篠原啓郎（副委員長）
後列左から…小池賢保 小松一平 長田近夫
山岸正衛 望月克治 伊藤正陽

議場で行われる本会議

録画放送でご覧いただけます。

一般質問等の録画映像がホームページからご覧になれます。（質問日の一週間後からご覧いただけます。）実際の質問の様子、市側の答弁について、ぜひ動画でご覧ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますのでご利用ください。

6月定例会の**会議録の閲覧**は、8月末頃にシステムから閲覧できるようになります。

WEBで検索 茅野市議会 検索

傍聴

におかけください！ 議会棟 3階

市議会の定例会と臨時会の本会議及び各常任委員会は誰でも傍聴ができます。ぜひ皆さんも傍聴におかけください。予約の必要はありません。本会議の傍聴席は、一般席と報道関係者席に分かれており、一般席は身障者用スペースを含め48席あります。

本会議の傍聴を希望される方は、当日、傍聴席入口に備え付けの傍聴受付証に必要事項をご記入の上、傍聴席へお入りください。事務局への連絡はいりません。

なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

※9月定例会の日程は、決まり次第茅野市議会のホームページとLCV11チャンネル（ビーナチャンネル）の文字放送でお知らせします。



WEBで検索 茅野市議会 検索

6月定例会より

茅野市議会6月定例会は、5月29日(金)から6月24日(水)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など9議案が審議され、市長提出の8議案はいずれも原案のとおり承認、同意、可決されました。

また、請願・陳情7件が審議され、採択2件、趣旨採択1件となりました。また意見書案4件のうち、3件が可決されました。

各議案の一覧及び議決結果は、8ページをご覧ください。また、審査経過及び結果は、常任委員会報告のページをご覧ください。

常任委員会報告

予算決算委員会

委員長 山岸 正衛

予算決算委員会に付託された案件は、平成27年度の補正予算に係る議案1件。

議案第43号 平成27年度茅野市一般会計補正予算(第1号)について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ、2203万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ232億9203万2千円とするもの。

主な歳出

・茅野市の魅力を全国に発信し、PRするために7月末から8月初旬にかけて行われる小屋フエスティバルへの補助金330万円。

・8月1日にアメリカのロングモント市で行われる、姉妹都市提携25周年記念式典への参加関係費等、国際交流事業費144万1千円。

総務環境委員会

委員長 望月 克治

総務環境委員会に付託された案件は、議案2件、請願2件、陳情2件。

議案第40号 損害賠償の額の決定について

可決

この議案は、公用車の事故による損害賠償の額の決定について議会の議決を求めるもの。

議案第16号 茅野市国民保護協議会条例の一部を改正する条例について

否決

この議案は、国会において審議されている安全保障関連法案が、国民保護にも関連し、市民の人権を擁護するという観点から、議員提案されたもの。

茅野市国民保護協議会条例第2条「協議会の委員の定数は、45人以内とする。」を「協議会の委員の定数は、45人以内とし、任命に当たっては、議会の意見を聴取することとする。」に改め、「協議会は、国民保護は武力攻撃等を回避することが最高の課題であることを確認し、いかなる場合も住民の基本的人権を守ることに十分な配慮をするものとする。」を新たに加えるもの。

質問

「国民保護法第5条に基本的人権の尊重がうたわれている。あえて茅野市国民保護協議会条例でうたう必要があるのか。」

回答

「人権を守るということを身近な行政が条例にうたうことは必要である。」

【討論】

反対意見

「この条例は、国民保護法に基づき定められている。そのため、現状のままでよい。」

賛成意見

「住民の幸福追求権を実現するために地方自治はある。地方自治体の独自立法権は憲法にも保障されているので、条例の一部改正を行うことに問題はない。」

請願5

沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を政府に求める意見書提出を求める請願

不採択の意見

「沖縄県民の基地負担の重さに

不採択

つについては理解できるが、地方自治の堅持については、全国的に推進されていると感じるので、全面的に受け入れることはできない。」

「国防に関わることに地方が意見を言うことができるのか。地方と国は対等だが、政策では国が優先されることもある。この件について、地方議会として意思を示すことは、妥当ではないのではないか。」

請願6

海外で戦争に繋がる安全保障法案を今国会で成立させることに反対する請願

不採択の意見

不採択

「自国は自国で守るということで法整備が進められている。国会で審議中の内容であり、国民の意見も聞きながら会期も延長して慎重な審議が進められている。その結果を見ていきたい。」

【討論】

反対意見

「日本がどのように平和協力していくのか世界に注目されている。」

平和を守ることは一番大切なことであるし、誰もが戦争をしたくないと思っている。そうした時に、日本は何ができるか考え、法整備をすることも一つの道だと思う。完全に憲法違反ということではなくギリギリのところまでできることを決めているのだと思う。」

賛成意見

「グローバル化が進み、日本一国では平和が成り立たないと言われる。中国、北朝鮮の脅威に対し、この法律が必要であるといわれている。アジアの国々からの輸入に頼る日本がそれらの国を脅威と捉え、法律を作らなければならないのはなぜなのか。お互い意見を交わし協力しあうのが筋ではないか。多くの憲法学者が憲法違反だと言っている法律の成立を許してはいかない。」

陳情10

安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書

みなし不採択

請願6と同趣旨である
とみなして不採択。

陳情11

安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書

みなし不採択

請願6と同趣旨である
とみなして不採択。

経済建設委員会

委員長 樋口 敏之

経済建設委員会に付託された案件は、議案3件、陳情1件。

議案第38号

市道路線の認定について（宮川両久保地籍）

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により、市道認定をするもの。（宅地開発に伴う市道路線の認定。）

質問

「市道の認定にあたり、道路の区分はどのように定めるか。またこの路線は、宅地を囲むような道路となっているが、一方通行の道路となるのか。」

回答

「道路の区分については、道路構造令に基づいている。今回認定される道路は、種別としては「その他の道路」となり、交通量の多い道路ではないため、第4種第4級の道路になる。路線名としてブルック番号と路線番号が付けられている。また、この道路は、一方通行ではない。」

質問

「農地を宅地等に転用する際の手順は。」

回答

「農地を宅地等に転用する場合、農地転用の手続きが必要であり、知事の許可を受けなくてはならない。当該土地についても、転用の手続きがされている。また、都市計画法第29条に基づき、開発の許可も受けている。開発に必要な一連の手続きを取り、知事の許可を受けた後に市道認定の申請書類が市に提出される。」



議案第39号

市道路線の認定について（玉川小堂見地籍）



この議案は、道路法第8条第2項の規定により、市道認定をするもの。（宅地開発に伴う市道路線の認定。）

議案第42号

茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について



この議案は、整備の終了した公園を都市公園として位置付けるためのもの。

質問

「公園内の遊具等を使用した際の事故について、補償があるか。」

回答

「市が管理している公園は保険に入っているため、怪我をした場合は補償がある。また、事故が起らないよう遊具等について毎年点検をしており、不備があれば直ちに補修を行っている。」

質問

「犬を連れて公園を散歩される

方がいるが、犬のフンの後始末についてはどのように指導しているのか。」

回答

「公園利用の際の犬のフンの後始末については、看板を設置し、適正な処理をお願いしている。今後、公園利用のマナーについては区長さんを通じて周知していくことも検討したい。」



都市公園として認定するための現地視察
左から 川辺公園、西茅野中央公園

陳情12

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

趣旨採択の意見



「最低賃金の引き上げ、中小企業への支援の拡充を求めるという趣旨には賛成である。」

「地域によって物価に差がある中で、全国一律の最低賃金とすることには賛成しかねる。最低賃金が大幅に引き上げられた場合、企業によつては経営が成り立たなくなるのではないか。国の借金が1千兆円を超える中、これ以上、国の負担が増えるのはいかなものか。景気が回復してきている中、企業の自助努力も必要ではないか。」

福祉教育委員会

委員長 伊藤 玲子

福祉教育委員会に付託された案件は、陳情2件。

陳情7

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書



採択の意見

「ろう者の方は訴える手段がない中で、まずは他の障害をお持ちの方と同じ水準に持っていきたいというのが手話言語法であり、採択で良いと考える。」

「手話を言語とする根本的な法律が必要だ。」

「この陳情は、こういう趣旨の法律を作って欲しいという要望で、立ち上げのためのきっかけを求めた陳情なので、採択すべき。」

陳情9

「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書

採択の意見



「全ての子どもが平等に教育を受けるという中で、義務教育は国の責任でやっていくべきで、3分の1ではなく、2分の1の負担率でやっていくって欲しい。」

「教材費、旅費、共済費、退職手当などは国の負担制度から外され、その分の費用は県や市が負担しているので、国の制度でしっかりと見て欲しいという趣旨であり、良いのではないか。」

6月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 総務環境 経済建設 福祉教育 予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	松山 孝志	丸茂 岳人	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	両角 秀喜	両角 昌英	伊藤 勝	伊藤 玲子	樋口 敏之	篠原 啓郎	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢千 登勢	小池 賢保
市長 提出 議案	36 茅野市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	37 茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	41 茅野市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	38 市道路線の認定について(宮川両久保地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	39 市道路線の認定について(玉川小堂見地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40 損害賠償の額の決定について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	42 茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43 平成27年度茅野市一般会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告	2 専決処分の報告について																			
	3 平成26年度茅野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて																			
	4 茅野市総合サービス株式会社の経営状況について																			
	5 株式会社地域文化創造の経営状況について																			
請 願 ・ 陳 情	5 沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を政府に求める意見書提出を求める請願	総	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●
	6 海外で戦争に繋がる安全保障法案を今国会で成立させることに反対する請願	総	不採択	○	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	○	○
	7 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書	総	みなし 不採択																	
	11 安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書	総	みなし 不採択																	
	12 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	経	趣旨 採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員 提出 議案	16 茅野市国民保護協議会条例の一部を改正する条例について	総	否決	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●
	17 意見書案の提出について(手話言語法制定を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 意見書案の提出について(「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 意見書案の提出について(平和安全法制等の整備についての慎重審議を求める)		可決	○	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	●	○	●	●
	20 意見書案の提出について(集团的自衛権行使を具体化する法案の撤回を求める)		議決 不要																	

議決日は、6月24日の議会最終日(但し、議案第36号、37号、41号は、5月29日の開会日に即決)

平成27年6月定例会 請願・陳情 議決結果

番 号	表 題	趣 旨	提 出 者	採決結果	
				委員会	本会議
請願5	沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を政府に求める意見書提出を求める請願	沖縄県民は、県知事選挙と総選挙でこれ以上の基地負担を拒否する意思を明らかにしている。しかし、国は県民の声に耳を傾けているとは言えない。国に対し、国と地方自治体との対等性を確認し、地方自治の堅持を求めるもの。	地方自治の本旨を守る会	不採択	不採択
請願6	海外での戦争に繋がる安全保障法案を今国会で成立させることに反対する請願	自衛隊が海外で武力行使を可能にする平和安全法制関連2法案を今国会で成立させないよう国に求めるもの。	茅野市9条の会	不採択	不採択
陳情7	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには、手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定することを求めるもの。	茅野市聴覚障害者協会	採 択	採 択
陳情9	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書	平成28年度予算編成にあたり、国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元すること。また、国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共済費、退職手当などを還元することを求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採 択	採 択
陳情10	安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書	政府は、安全保障法制2法案を今夏までに成立させることを目指している。このことに対し、法案の撤回・廃案、少なくとも今国会での採択をしないこと。また、広く国民的議論を尽くすことを求めるもの。	海外での戦争に道を開く閣議決定白紙撤回！＝諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会	みなし 不採択	みなし 不採択
陳情11	安全保障法制法案に関する意見書採択を求める陳情書	安全保障法制2法案が国会に提出されたことに不安と怒りを感じる。国の重要な進路に係る立法を「安全保障関連法案」として、短期間に一括審議することに強く反対し、今国会において法案を成立させないことを求めるもの。	新日本婦人の会 茅野市支部	みなし 不採択	みなし 不採択
陳情12	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	国民が健康で文化的な最低限の生活を営むため、また、地方の経済を再生させるためには、最低賃金の大幅な引き上げと格差是正が必要であり、そのためには国による中小企業への助成や融資など支援が必要である。このため、国に対し、最低賃金の地域格差を撤廃し大幅に引き上げること、また中小企業支援策の拡充を求めるもの。	諏訪地区労働組合連合会	趣 旨 採 択	趣 旨 採 択

茅野市の課題を問う！

平成27年6月定例会の一般質問は、6月11日、12日、15日の3日間行われ、17人の議員から25項目についての質問が市側に出されました。

6月定例会一般質問通告一覧

	件 名	要 旨
伊藤玲子	1 3期目の市政運営について	(1) 選挙戦を通して、見えてきた新しい課題や思い等について (2) 市政で優先して欲しい課題として、医療・福祉が最多という調査結果について (3) 30年以内の地震発生確率13%～30%と言われる長期評価を受ける中で、当市における減災・防災・自主防災組織の機能強化などの取組への緊急性について (4) みんなでつくるみんなの茅野市(公民協働のまちづくり)の実践について
伊藤勝	2 市長施政方針等について	(1) 市長選挙の投票結果について (2) 重点施策についての考え方は (3) 新聞報道の施策の考え方は
	3 鳥獣被害対策について	(1) 取組の総括は (2) 今後の展開は (3) 新しくなった鳥獣被害対策実施隊の考え方と課題は
山岸正衛	4 環境の日について	(1) 環境の日を定めることについて (2) 今まで取り組んできたことについて (3) 市民総参加の活動について
	5 一般家庭での生ごみ処理について	(1) 一般家庭での生ごみ処理機器の設置状況について (2) 生ごみ処理機器の普及促進について
	6 ジャブジャブ池の活用について	(1) 現在の維持管理について (2) 人の集まる場としての活用について
矢島正恒	7 茅野市子ども・子育て支援事業計画の各種事業の現状と課題について	(1) 保育園などの入所状況と今後の課題について (2) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況と今後の課題について (3) 保育園などの運営方針と今後の整備計画について
	8 子どものライフステージごとの特別支援の状況と教育相談体制について	(1) 乳幼児期における発達障害等への対応と支援体制について (2) 学齢期(小中学校)における発達障害等への対応と特別支援体制について (3) 学齢期(小中学校)における教育相談体制について
両角昌英	9 災害に強い支え合いのまちづくり条例の運用について	(1) 市民、特に未入区者への周知について (2) 消防団を中核とした地域防災力の充実強化について (3) 自主防災組織と消防団の関わりについて (4) 地域内の保育園、学校と消防団、自主防災組織及び地域住民との連携訓練の実施について (5) 地域内の病院、高齢者施設と消防団、自主防災組織及び地域住民との連携訓練の実施について (6) 自助、共助の取組を支える公助の考え方について
両角秀喜	10 縄文プロジェクトの経済効果について	(1) これまでの投資額と経済効果について (2) 縄文プロジェクトの目指すもの・目標について (3) 目標を達成するための、今後の推進計画について
	11 若者が集うまちづくりについて	(1) 茅野市の少子高齢化・人口減少化の実状について (2) 若者の就労状況について (3) 若者を茅野市に呼び戻す手法について
宮坂武男	12 白樺湖エリアの再生について	(1) 白樺湖畔の廃業施設の撤去について (2) 高地トレーニング合宿の誘致について (3) 植栽による景観の再生について
	13 高齢者の社会的孤立について	(1) 気軽に交流できる居場所の提供について (2) 高齢者の見守り支援について
北沢千登勢	14 子どもと子育て世代のための施策を充実することについて	(1) スクールソーシャルワーカーを4学校区に配置したいとする背景について (2) 職員研修制度を活用して退職職員を相談員等の専門家として育成することについて (3) 保育園の休日保育実施について (4) 学童クラブの現状で見直しが必要と思われる点について (5) 学童クラブの受入れ年齢拡大と第2子以降の利用料減額について

※一般質問通告一覧は受付順となっています。

	件 名	要 旨
長田近夫	15 生活困窮者自立支援制度施行後の現状と取組について	(1) 現状と支援体制について (2) 茅野市が任意で実施している事業について
小池賢保	16 市営住宅サンコーポラス旭ヶ丘について	(1) 市営住宅としての取得経緯について (2) 市営住宅としての建物管理と外回りの整備について (3) 災害時における入居者への対応について (4) 「公共施設等総合管理計画」の中での今後の活用・方向付けについて
伊藤正陽	17 横河川上流域の大型太陽光発電所建設に伴う住民の不安解消について	(1) 大型太陽光発電所建設計画に対する、横河川下流域地域住民の不安を把握しているか (2) 横河川下流域地域住民の不安を解消するための手立てをどう考えているか
	18 子ども・障がい者の医療費について	(1) 子ども・障がい者の医療費無料の必要性について (2) 子ども・障がい者医療の実態について (3) 子ども・障がい者医療費の窓口無料化の推進について (4) 子どもの医療費無料年齢の引き上げについて
小尾一郎	19 市の「婚活」への取組について	(1) 婚活事業の内容、事業展開の仕方について (2) 婚活事業の事業主体について (3) 社会福祉協議会結婚相談事業との兼ね合いについて (4) 諏訪広域の連携について (5) 民間婚活団体の活動支援策について
	20 避難行動要支援者名簿作成の進捗状況について	(1) 現在の作成段階について (2) 名簿提供の日程について (3) 各関係先での活用方法について
丸茂岳人	21 茅野市への観光客数と観光客の消費金額について	(1) 320万人の観光客の交通手段は何か (2) エリア別の観光客数と宿泊者数について (3) リピーター数はどれくらいか (4) 観光客の増大も重要だが、現状の観光客の消費額を増やす方が即効性は高いと思うがどう考えているか (5) 使用金額から、多くの観光客が宿泊していないと思われるが、宿泊を促す手段を市として検討しているか (6) 観光客数及び消費額を増やすための具体的な検討案について
樋口敏之	22 茅野市におけるビッグデータ・オープンデータの活用について	(1) ビッグデータの活用とオープンデータの提供について (2) データ分析やマーケティングが出来る人材育成について
松山孝志	23 地域創生について	(1) 一極集中からの分散に対応する受皿作りについて (2) 自然エネルギーの活用について (3) 産業の柱の一つ、観光への取組について (4) 知恵を出してもらうことへの支援について (5) 農産品販売者の農地・農業への投資について
望月克治	24 「茅野市国民保護協議会条例」と「茅野市国民保護対策本部及び茅野市緊急対処事態対策本部条例」のもとで市民の安全を守る施策について	(1) 「茅野市国民保護協議会条例」や「茅野市国民保護対策本部及び茅野市緊急対処事態対策本部条例」への影響は出るのか (2) 「武力攻撃事態等における特定公共施設等の利用に関する法律」では、国内の公共施設の利用について規定していますが、どのような対応を考えているか
篠原啓郎	25 「人口を減らさない仕組みづくりと観光産業」について	(1) 人口は市の基礎。施策の目指す姿を「人口を減らさない仕組みづくり」として最前面に押し出し、更に具体的に、より本音で語る考え方について (2) 茅野市を知り、人が集まる施策として、観光地を活かす取組で茅野市を宣伝することについて (3) 人口の流出を防ぎ、人が留まる施策として、観光振興を更に推進し、住む場所、働く場所を提供することについて (4) 観光産業はすそ野が広く、その振興が他の産業振興に繋がることから、観光振興を「人口を減らさない仕組み」の糸口とすることについて

茅野市議会第2回臨時会開催（7月15日）

樋口尚宏氏が副市長及び固定資産評価員に選任されました。

議案第44号「茅野市副市長選任の同意を求めることについて」、議案第45号「茅野市固定資産評価員選任の同意を求めることについて」の2議案が審議されました。これは、立石良忠副市長が7月30日をもって任期満了となるため、新たに、樋口尚宏氏を副市長及び固定資産評価員に選任し、議会の同意を求めるものです。

これら2議案については、全会一致で同意されました。

樋口尚宏氏の任期は、平成27年7月31日から4年間です。

平成27年茅野市議会第2回臨時会議決結果

議案番号・件名		議決年月日	議決結果
議案第44号	茅野市副市長選任の同意を求めることについて	平成27年7月15日	同意
議案第45号	茅野市固定資産評価員選任の同意を求めることについて	平成27年7月15日	同意

編集室より

ちの市議会だよりは、住民と議会を結ぶパイプ役として重要な役割を持っています。

議会は公開されており、傍聴できる仕組みにはなっていますが、傍聴に來られない市民の方に議会審議の内容をお知らせすることが、ちの市議会だよりの役割でもあります。

また、議場で行われる本会議は、生中継を行っており、議会終了後もインターネットにより映像を見ることができですが、紙面として発行するちの市議会だよりは、手軽に手に取り、いつでも読むことができる利点があります。

ちの市議会だよりの発行も4年目を迎えました。これからも、多くの方に読まれ親しまれるよう工夫を重ね、分かりやすい紙面づくりに取り組んでいきます。

議会広報部会長 宮坂 武男

議会広報部会

部 員	部 員	部 員	部 員	部 員	部 員	副部会長	部会長
篠原 啓郎	伊藤 玲子	伊藤 勝	両角 秀喜	矢島 正恒	伊藤 正陽	山岸 正衛	宮坂 武男